



「二学期を振り返って!!」

二学期は、水泳記録会、学習発表会、遠足、社会科見学、修学旅行などいろいろな行事を体験し、子どもたちはさらに、成長したと思います。その二学期を振り返ってみたいと思います。



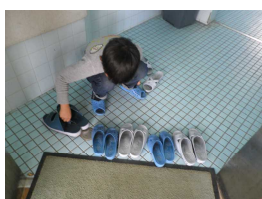
日々の学習では、自分の考えを説明する場面が多く見られました。説明するために、自分の考えを書く時間をとり、全体に説明する前に、二人組で説明して自分の考えを深める活動を取り入れました。二人組で、真剣に自分の考えを説明している姿に、「よおーし、やるぞ」を感じました。



10月に行われた学習発表会の様子では、各学年毎に「テーマ」を決め、素晴らしい発表をしてくれました。一番、感心したのは、子どもたち一人ひとりの表情が生き生きとしていたことです。一人ひとりの「よおーし、やるぞ」という気持ちが、参観された方に伝わったと思います。



一年生から六年生が縦割班で掃除をします。どの掃除場所でも、六年生のアドバイスを受けて、テキパキと掃除が進められます。もくもくと掃除をする姿、特に、弥四郎拭きで、一拭き一拭き丁寧に雑巾がけをする姿には、いつも感心させられます。



ある日、トイレの横を通りかかった時、トイレのスリッパが散乱していました。時々、見かけられる風景です。この後トイレから出てきた人が、並べられていないスリッパをきれいに並べてくれました。とても感心しました。みんなのことを考えてくれ、弥四郎さんの思いやりを受け継ぐ行動でした。

あるクラスに自習の監督に行った時の話です。子どもたちは、もくもくと国語と算数のテストに取り組んでいました。もちろん、部屋には鉛筆の音だけが聞こえます。テストが終わった人から前に提出していました。テストは、表・裏に問題があり、バラバラに提出されています。ところが、途中で気が付いた子が、表と裏をきちんと揃えていました。休み時間になると提出されたテストを出席番号順に並べている子がいました。その子に、「並べる係ですか。」と尋ねると「いいえ」と言う言葉が返ってきました。

次の時間は、図工でした。色画用紙をハサミで思い思いに切って作品を完成させる学習でした。感心したのは、切った残りがすべてちり箱に捨てられていたことです。もちろん、教室には、一つのゴミも散らかっていません。当たり前のことを当たり前にすること、なかなか難しいことです。